

昭和初期の香り漂う県庁舎別館。近代における山梨ゆかりの人物の功績などを紹介しています。



旧知事室

残された当時の家具類や写真などから、創建時の知事室の内装を復元しました。昭和初期の香りを感じてください。



県政歴史展示室

昭和初期の知事応接室です。当時の雰囲気を感じられる空間としました。中央のモニターで県政の歴史などをご覧ください。【中央のモニターは休止中】



3階 正庁

県庁内の特別な行事を行う場所です。残された写真から当時の姿に復元しました。年間10回程度講座等も開催します。



人物紹介室

テーマに沿って9人の人物を詳しく紹介します。中央では、近代化の象徴である中央線笹子トンネルの歴史を映像で紹介しています。



子ども向けコンテンツ「ふるさと人物伝」キャラクターとなった人物のクイズを楽しみながら人生の転機などが学べます。【休止中】



導入展示室

導入映像とともに50人の人物が皆さまをお迎えます。人物の功績や人物が残した言葉などをお伝えしています。



情報展示室

50人に関連するその他の人物や、人物ゆかりの地など、様々な情報を検索できます。【休止中】

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、タブレット端末など接触を伴う展示の一部を休止しております。

2階展示施設

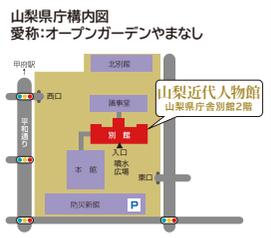
Information

開館時間／午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)
休館日／毎月第2・第4火曜日 12月29日～1月3日
その他展示替え等により臨時に休館する場合があります
入館料／無料

山梨近代人物館

The Museum of
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
TEL.055-231-0988 FAX.055-231-0991
<https://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>



防災新館地下駐車場をご利用ください。(駐車無料)

第14回展示

2021年10月1日(金)～2022年3月21日(月・祝)

最新の情報はこちらのホームページでご確認ください。

県庁舎別館展示施設

山梨近代人物館

創建時の姿によみがえった県庁舎別館において、近代山梨の発展に貢献した人物や県政のあゆみについて紹介しています。



山梨近代人物館は、概ね明治時代から戦前までの間、農林業、政治・経済、国際交流、教育、芸術、学術など幅広い分野で活躍した人物50人の中から毎年2回ずつテーマに沿って9人の人物を紹介しています。

第14回展示 わたしたちのまちの先駆者たち —南アルプス・峡南地域—

明治36年(1903)の中央線開通は、山梨の社会や文化を一変させた「東西」の軸の成立といえますが、それまでの山梨の近代化を支えたのは、富士川を中心とした「南北」の軸であったといえるかも知れません。海へ、そして外の文化へつながる道すがら、山梨の人々はどのような夢を描いたのでしょうか。



わか お いっ べい
若尾 逸平

(南アルプス市 1820~1913)

行商生活から一代で、東京の電力や市電を支配するほどの財をなした。政界でも初代甲府市長や、山梨最初の貴族院多額納税者議員に就いている。



こん どう よし のり
近藤 喜則

(南部町 1832~1901)

「蒙軒塾(学舎)」を設立して近隣の子弟の教育に努めた。三檜みつまた(紙の原料)の増産のために殖産社を設立するなど、地域の発展に尽力した。山梨県議会の初代議長に就任した。



わた なべ せい しゅう
渡辺 青洲

(甲斐市 1840~1911)

養父の代から引き継いだ資料収集は「青洲文庫」と呼ばれ東京大学の貴重な古典籍資料として保存されている。市川いちがわ紡績場の経営にあたるなど、県内の政財界でも活躍した。



か さい とよ た ろう
河西 豊太郎

(南アルプス市 1874~1959)

富士身延鉄道、山梨交通といった山梨にゆかり深い企業の要職を務めた。芸術への造詣が深く、根津美術館の理事長・館長も務めた。



こ み や ま せい ぞう
小宮山 清三

(南アルプス市 1880~1933)

池田村(甲府市)の村長や県会議員など歴任。近代消防の普及に努め「消防の父」と呼ばれたほか、木喰仏を柳宗悦へ紹介し、木喰研究を推進した人物としても知られている。



こん どう こう いち ろ
近藤 浩一路

(南部町 1884~1962)

墨の彩りが織りなす独特の画風を確立し、山梨や日本の風景を水墨で彩り豊かに描いた水墨画家。祖父は山梨県議会初代議長の近藤喜則。



いし ばし たん ざん
石橋 湛山

(東京都港区 1884~1973)

「小日本主義」を唱え、『東洋経済新報』で活躍した気骨の言論人。戦後政界入りし、第55代内閣総理大臣を務め、退任後に中華人民共和国との国交回復にも尽力した。



くぬ ぎ き ない
功刀^{*} 亀内

(南アルプス市 1889~1957)

郷土資料「甲州文庫」の収集で知られる郷土史研究者。歴史・民俗・美術の各分野にわたる資料群は、山梨の郷土史を語るうえで欠かせないものとなっている。

(※正しくは「功刀」ですが、便宜上「功刀」と表記しています。)



もち づき ゆり こ
望月 百合子

(富士川町 1900~2001)

平塚らいてうとともに「婦人戦線」創刊に参加。戦前は新聞記者のほか、女性解放、女性教育運動や翻訳などで活躍。山人会の初代会員として県の文化振興に尽力した。